

---

## 2031. ACL情報登録

---

業務コード	業務名
ACL01	ACL情報登録（コンテナ船用）
ACL02	ACL情報登録（在来船・自動車船用）

## 1. 業務概要

コンテナ船又は在来船・自動車船への輸出貨物の船積みに際し、船荷証券（B/L）の作成に必要な情報（以下、「ACL情報」という。）を「船積確認登録（CCL）」業務に先立って、ブッキング番号単位に登録及び通知を行う。なお、本船への輸出貨物の船積みに際し、関税法第16条第2項に基づき税関職員に呈示しなければならない積卸についての書類に関する情報の登録も本業務で行う。

### (1) ACL情報登録（コンテナ船用）の場合（ACL01業務）

コンテナ船への輸出貨物の船積みに関しては、ACL01業務を利用する。ハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたブッキング番号に係るマスター単位のACL情報（以下、「マスターACL情報」という。）とハウス用ブッキング番号に係るハウス単位のACL情報（以下、「ハウスACL情報」という。）の関連付けも併せて行う。また、1ブッキング番号にACL情報が複数となる場合は、ブッキング番号に枝番を付与して入力する。

なお、本業務では、船会社等への通知等の前に情報の入力のみを目的とする仮登録と船会社等への通知等を目的とする登録の機能があり、次の処理区分によって登録、訂正、取消しの処理が行われる。

#### 【仮登録に係る処理区分】

##### ① 「8：仮登録」ACL情報の仮登録および訂正

注：当該処理区分「8」を利用して訂正を行う場合に船舶情報<sup>※</sup>を含む場合は、ブッキング番号に枝番を付すことが必要となる。

##### ② 「7：仮登録訂正」仮登録したACL情報の訂正

注：前記注に記す、船舶情報<sup>※</sup>を含む訂正において、ブッキング番号枝番を付すことに支障がある場合は、本処理区分を利用する。

##### ③ 「1：取消し」仮登録したACL情報の取消し

#### 【登録に係る処理区分】

##### ① 「9：登録」ACL情報の登録

##### ② 「5：訂正」登録したACL情報の訂正（仮登録したACL情報の訂正は不可）

##### ③ 「1：取消し」登録したACL情報の取消し

### (2) ACL情報登録（在来船・自動車船用）の場合（ACL02業務）

在来船・自動車船への輸出貨物の船積みに関しては、ACL02業務を利用する。

1ブッキング番号にACL情報が複数となる場合は、ブッキング番号に枝番を付与して入力する。

なお、本業務においても、仮登録と登録の機能があり、利用する処理区分については、前記（1）と同様である。

（\*1）船舶情報とは、以下の3項目を指す（以下、同様）。

#### ①積載予定船舶コード

#### ②航海番号

#### ③積出港コード

## 2. 入力者

通関業、保税蔵置場、NVOCC、海貨業

## 3. 制限事項

### (1) ACL01業務の場合

1ブッキング番号（枝番入力がある場合は枝番も含める。以下同様。）に対して、以下のチェックを行う。

①1業務で入力可能な輸出管理番号は最大50件とする。

②1業務で入力可能なハウス用ブッキング番号は最大50件とする。

③1業務で入力可能なコンテナ番号は最大200件とする。

- ④ 1業務で入力可能な品名は最大10件とする。
- ⑤ 1業務で入力可能な記号番号は最大18件とする。
- ⑥ 訂正は最大9回可能とする。

(2) ACL02業務の場合

1ブッキング番号に対して、以下のチェックを行う。

- ① 1業務で入力可能な輸出管理番号は最大50件とする。
- ② 1業務で入力可能な品名は最大10件とする。
- ③ 1業務で入力可能な記号番号は最大18件とする。
- ④ 1業務で入力可能な車台番号等は最大400件とする。
- ⑤ 訂正は最大9回可能とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 仮登録後の登録、訂正または取消しの場合は、ACL情報DBに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) ACL情報DBチェック

(A) 仮登録の場合

(a) 仮登録情報の新規登録の場合 (処理区分コード「8：仮登録」)

- ① 入力された船会社コード+ブッキング番号+ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対するACL情報DBが存在しないこと。
- ② ACL01業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対して、ACL01業務で登録されたACL情報DBが存在すること。また、当該ハウスACL情報が既に他のマスターACL情報と関連付けられていないこと。

(b) 仮登録情報の訂正の場合 (処理区分コード「8：仮登録」)

- ① 入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対して、本業務で登録されたACL情報DBが存在すること。
- ② ACL01業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対して、ACL01業務で登録されたACL情報DBが存在すること。また、当該ハウスACL情報が既に他のマスターACL情報と関連付けられていないこと。

(c) 仮登録情報 (船舶情報\*) の訂正の場合 (処理区分コード「7：仮登録訂正」)

- ① 入力された船会社コード+ブッキング番号+ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対するACL情報DBが存在すること。
- ② ACL01業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対して、ACL01業務で登録されたACL情報DBが存在すること。また、当該ハウスACL情報が既に他のマスターACL情報と関連付けられていないこと。

(d) 仮登録情報の取消しの場合 (処理区分コード「1：取消し」)

①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対して、本業務で登録されたACL情報DBが存在すること。

②当該ACL情報がマスターACL情報と関連付けられていないこと。

#### (B) 登録の場合

##### (a) 登録の場合（処理区分コード「9：登録」）

①入力された船会社コード+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBが存在しないこと。（事前に本業務で仮登録されていた場合を除く。）

②ACL01業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対して、ACL01業務で登録されたACL情報DBが存在すること。また、当該ハウスACL情報が既に他のマスターACL情報と関連付けられていないこと。

##### (b) 訂正の場合（処理区分コード「5：訂正」）

①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対して、本業務で登録されたACL情報DBが存在すること。

②当該ACL情報がマスターACL情報と関連付けられていないこと。

③ACL01業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対して、ACL01業務で登録されたACL情報DBが存在すること。また、当該ハウスACL情報が既に他のマスターACL情報と関連付けられていないこと。

##### (c) 取消しの場合（処理区分コード「1：取消し」）

①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対して、本業務で登録されたACL情報DBが存在すること。

②当該ACL情報がマスターACL情報と関連付けられていないこと。

#### (4) 貨物情報DBチェック

仮登録、**仮登録訂正**、登録または訂正の場合で、輸出管理番号に係る取消表示識別が「3」でない輸出管理番号に対して、以下のチェックを行う。

①入力された輸出管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。

②削除表示が設定されていないこと。

③輸出貨物または積戻し貨物であること。

④入力者が保税蔵置場の場合は、入力された全ての輸出管理番号に対する貨物情報DBに入力者が管理する保税地域に蔵置した履歴が存在すること。

### 5. 処理内容

#### (1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

#### (2) ACL情報DB処理

##### (A) 仮登録の場合

##### (a) **仮登録情報の新規登録の場合**（処理区分コード「8：仮登録」）

- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを作成する。
  - ②入力された内容を登録する。
  - ③ACLO1業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBに、マスターACL情報と関連付けた旨を登録する。
- (b) 仮登録情報の訂正の場合（処理区分コード「8：仮登録」）
- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを本業務の入力内容により更新する。
  - ②ACLO1業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBに、マスターACL情報と関連付けた旨を登録する。

(c) 仮登録情報（船舶情報<sup>※1</sup>）の訂正の場合（処理区分コード「7：仮登録訂正」）

- ①入力された船会社コード+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを本業務の入力内容により更新する。
- ②ACLO1業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBに、マスターACL情報と関連付けた旨を登録する。

(d) 仮登録情報の取消しの場合（処理区分コード「1：取消し」）

- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを取り消した旨を登録する。
- ②ACLO1業務の場合は、当該ACL情報と関連付けられているハウスACL情報に対して、マスターACL情報と関連付けた旨を取り消す。

(B) 登録の場合

(a) 登録の場合（処理区分コード「9：登録」）

- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを作成する。（事前に仮登録されていた場合を除く。）
- ②入力された内容を登録する。
- ③ACLO1業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBに、マスターACL情報と関連付けた旨を登録する。（事前に仮登録されていた場合を除く。）

(b) 訂正の場合（処理区分コード「5：訂正」）

- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBを本業務の入力内容により更新する。
- ②ACLO1業務でハウス用ブッキング番号が入力された場合は、入力されたNVOCCコード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ハウス用ブッキング番号+ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するACL情報DBに、マスターACL情報と関連付けた旨を登録する。

(c) 取消の場合 (処理区分コード「1:取消」)

- ①入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号+ブッキング番号+ブッキング番号枝番 (入力がある場合) に対するACL情報DBを取り消した旨を登録する。
- ②ACL01業務の場合は、当該ACL情報と関連付けられているハウスACL情報に対して、マスターACL情報と関連付けた旨を取り消す。

(3) ACL情報状況DB処理

登録または取消しの場合は、以下の処理を行う。

- ①登録の場合で、入力された船会社コード+積載予定船舶コード+積出港コード+航海番号に対するACL情報状況DBが存在しない場合は、ACL情報状況DBを作成する。
- ②登録の場合は、登録件数を加算する。
- ③取消しの場合は、取消件数を加算する。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(5) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

- ①ACL01業務の場合で、マスターACL情報に対して関連付けられたハウスACL情報が存在する場合。詳細は、後述7.(2)を参照。
- ②共通部の合計貨物重量(グロス)と繰返部の各コンテナの貨物重量(グロス)の合計において、重量単位コード(グロス)がすべて同一にもかかわらず、貨物重量(グロス)の合計に差異がある場合。
- ③共通部の合計貨物容積(グロス)と繰返部の各コンテナの貨物容積(グロス)の合計において、容積単位コード(グロス)がすべて同一にもかかわらず、貨物容積(グロス)の合計に差異がある場合。



6. 出力情報

(1) ACL01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ACL情報（コンテナ船本情報）（仮登録） （マスターACL情報単位）	仮登録または仮登録訂正の場合	入力者
ACL情報（記号番号情報）（仮登録） （マスターACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）仮登録または仮登録訂正である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
ACL情報（品名情報）（仮登録） （マスターACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）仮登録または仮登録訂正である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
ACL情報（コンテナ船本情報） （マスターACL情報単位）	登録の場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）通知先コード（CY・CFS）欄に入力がある （3）通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード（CY・CFS）欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード（CY・CFS）
ACL情報（記号番号情報） （マスターACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある （3）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある （3）通知先欄に入力がある	入力された通知先

情報名	出力条件	出力先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 通知先コード (CY・CFS) 欄に入力がある (3) 通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード (CY・CFS) 欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード (CY・CFS)
ACL情報 (品名情報) (マスターACL情報単位)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 通知先コード (CY・CFS) 欄に入力がある (3) 通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード (CY・CFS) 欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード (CY・CFS)
ACL情報 (コンテナ船本情報) (ハウスACL情報単位)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録でハウス用ブッキング番号欄に入力があるか、または訂正でハウス用ブッキング番号が追加されている (2) ハウス情報送信識別欄に「1」 (ハウス情報送信識別有) が入力されている (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
ACL情報 (記号番号情報) (ハウスACL情報単位)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録でハウス用ブッキング番号欄に入力があるか、または訂正でハウス用ブッキング番号が追加されている (2) ハウス情報送信識別欄に「1」 (ハウス情報送信識別有) が入力されている (3) 入力されたハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBに記号番号が2欄以上登録されている (4) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC



情報名	出力条件	出力先
ACL情報（品名情報） （ハウスACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録でハウス用ブッキング番号欄に入力があるか、または訂正でハウス用ブッキング番号が追加されている (2) ハウス情報送信識別欄に「1」（ハウス情報送信識別有）が入力されている (3) 入力されたハウス用ブッキング番号に係るACL情報DBに品名関連情報が2欄以上登録されている (4) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
ACL変更情報（コンテナ船本情報） （マスターACL情報単位）	訂正の場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC* <sup>2</sup>
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 通知先コード（CY・CFS）欄に入力がある (3) 通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード（CY・CFS）欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード（CY・CFS）
ACL変更情報（記号番号情報） （マスターACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力があるか、またはACL情報DBに記号番号が2欄以上登録されている (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC* <sup>2</sup>
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 通知先コード（CY・CFS）欄に入力がある (3) 通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード（CY・CFS）欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード（CY・CFS）

情報名	出力条件	出力先
ACL変更情報（品名情報） （マスターACL情報単位）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）訂正である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）訂正である （2）品名関連情報に2欄以上入力があるか、またはACL情報DBに品名関連情報が2欄以上登録されている （3）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC*2
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）訂正である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある （3）通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）訂正である （2）通知先コード（CY・CFS）欄に入力がある （3）通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード（CY・CFS）欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード（CY・CFS）
ACL取消情報（マスターACL情報単位）	取消しの場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）取消しである （2）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）取消しである （2）通知先欄に入力がある	入力された通知先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）取消しである （2）通知先コード（CY・CFS）欄に入力がある （3）通知先コード欄に入力された利用者と通知先コード（CY・CFS）欄に入力された保税地域コードにかかる利用者が異なる	入力された通知先コード（CY・CFS）

## (2) ACL02業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ACL情報（在来船・自動車船本情報）（仮登録）	なし	入力者
ACL情報（記号番号情報）（仮登録）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）仮登録または仮登録訂正である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
ACL情報（品名情報）（仮登録）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）仮登録または仮登録訂正である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
ACL情報（車台番号等情報）（仮登録）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）仮登録または仮登録訂正である （2）車台番号欄に1欄以上入力がある	入力者
ACL情報（在来船・自動車船本情報）	登録の場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL情報（記号番号情報）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある （3）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）記号番号欄に2欄以上入力がある （3）通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL情報（品名情報）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）登録である （2）品名関連情報に2欄以上入力がある （3）船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC

情報名	出力条件	出力先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL情報(車台番号等情報)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 車台番号欄に1欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 車台番号欄に1欄以上入力がある (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 車台番号欄に1欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL変更情報(在来船・自動車船本情報)	訂正の場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC* <sup>2</sup>
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL変更情報(記号番号情報)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力があるか、またはACL情報DBに記号番号が2欄以上登録されている (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC* <sup>2</sup>
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 記号番号欄に2欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL変更情報(品名情報)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC* <sup>2</sup>

情報名	出力条件	出力先
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 品名関連情報に2欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL変更情報(車台番号等情報)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 車台番号欄に1欄以上入力がある	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 車台番号欄に1欄以上入力があるか、またはACL情報DBに車台番号が1欄以上登録されている (3) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC*2
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 訂正である (2) 車台番号欄に1欄以上入力がある (3) 通知先欄に入力がある	入力された通知先
ACL取消情報	取消しの場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 取消しである (2) 船会社欄に「9999」以外が入力されている	船会社欄に入力されたブッキング船会社またはNVOCC
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 取消しである (2) 通知先欄に入力がある	入力された通知先

(\*2) 当該出力情報をブッキング船会社またはNVOCC宛(出力先がEDIFACT利用者である場合を除く)に送信する際は訂正箇所のみ出力項目として出力し、訂正箇所以外の項目はスペースを出力する。また、訂正により取り消された項目について、an属性の項目の場合は「X」を出力項目桁数分出力し、n属性の項目の場合は「9」を出力項目桁数分出力する。

## 7. 特記事項

### (1) 貨物情報DB等からの抽出項目について

#### (A) ACL01業務の場合

ACLを構成する情報項目のうち、後述の①～⑯の項目の中で、貨物情報DBに登録がある場合は、当該項目を貨物情報DBより抽出し、ACL情報DBへ移送する。

ただし、①～⑯の項目については本業務で入力があった場合は、入力内容を優先し、ACL情報DBに登録する。

- |                                     |   |   |
|-------------------------------------|---|---|
| ①荷送人コード、荷送人名                        | } | (a) 繰返しの先頭の輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出する項目  |
| ②船卸港コード                             |   |   |
| ③輸出統計品目・代表番号                        |   |   |
| ④品名                                 |   |   |
| ⑤個数、荷姿コード                           | } | (b) 1輸出管理番号のみ入力された場合に貨物情報DBより抽出する項目   |
| ⑥貨物重量、重量単位コード(グロス)                  |   |   |
| ⑦貨物容積、容積単位コード(グロス)                  |   |   |
| ⑧合計個数、荷姿コード* <sup>3</sup>           | } | (c) 全ての輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出し、システムで合計値を計算する項目(⑧～⑩の項目は入力項目の項番65～75が入力されなかった場合のみ抽出) |
| ⑨合計貨物重量* <sup>4</sup> 、重量単位コード(グロス) |   |   |
| ⑩合計貨物容積* <sup>4</sup> 、容積単位コード(グロス) |   |   |
| ⑪コンテナ本数                             |   |   |
| ⑫コンテナ番号* <sup>5</sup>               | } | (d) 入力された輸出管理番号にコンテナ詰めされている旨が登録されている場合に貨物情報DBより抽出する項目(⑬の項目は輸出コンテナの場合のみ抽出)       |
| ⑬シール番号                              |   |   |
| ⑭コンテナサイズコード、コンテナタイプコード              |   |   |
| ⑮コンテナ自重、コンテナ自重単位コード                 |   |   |
| ⑯記号番号* <sup>6</sup>                 | } | (e) 入力された全ての輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出する項目   |

#### (B) ACL02業務の場合

ACLを構成する情報項目のうち、後述の①～⑪の項目の中で、貨物情報DBに登録がある場合は、当該項目を貨物情報DBより抽出し、ACL情報DBへ移送する。

ただし、①～⑪の項目については本業務で入力があった場合は、入力内容を優先し、ACL情報DBに登録する。

- |                    |   |                                     |
|--------------------|---|-------------------------------------|
| ①荷送人コード、荷送人名       | } | (a) 繰返しの先頭の輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出する項目  |
| ②船卸港コード            |   |                                     |
| ③輸出統計品目・代表番号       |   |                                     |
| ④品名                |   |                                     |
| ⑤個数、荷姿コード          | } | (b) 1輸出管理番号のみ入力された場合に貨物情報DBより抽出する項目 |
| ⑥貨物重量、重量単位コード(グロス) |   |                                     |
| ⑦貨物容積、容積単位コード(グロス) |   |                                     |

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧合計個数、荷姿コード*<sup>3</sup></li> <li>⑨合計貨物重量*<sup>4</sup>、重量単位コード（グロス）</li> <li>⑩合計貨物容積*<sup>4</sup>、容積単位コード（グロス）</li> </ul> | } | (c) 全ての輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出し、システムで合計値を計算する項目（⑧～⑩の項目は入力項目の項番62～72が入力されなかった場合のみ抽出） |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪記号番号*<sup>6</sup></li> </ul>   | } | (d) 入力された全ての輸出管理番号に係る貨物情報DBより抽出する   |

(\* 3) 貨物情報DBに登録されている全ての荷姿コードが同一でない場合は、荷姿コードを「PK」と出力。

(\* 4) 貨物情報DBに登録されている全ての数量単位コード（重量単位または容積単位）が同一の場合のみ、システムで合計値を計算する。

(\* 5) 抽出対象のコンテナ番号が200件を超えた場合は、先頭の200件のみ出力する。

(\* 6) 抽出対象の記号番号が18件を超えた場合は、先頭の18件のみ出力する。

(2) ACL01業務におけるハウスACL情報単位のACL情報（コンテナ船本情報・記号番号情報・品名情報）の出力について

ACL01業務では、マスターACL情報に対して関連付けられたハウスACL情報が存在する場合は、当該ハウスACL情報単位の、「ACL情報（コンテナ船本情報）」等の多量の出力処理を行うため、後述の処理の流れとなる。

①入力チェック処理及びDB処理をした後、処理結果通知及びマスターACL情報単位の「ACL情報（コンテナ船本情報）」等の出力処理を行う。なお、内部処理を実行している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に併せて出力する。

②ハウス用ブッキング番号単位に処理を分割し、ハウス情報単位の「ACL情報（コンテナ船本情報）」等の出力処理を行う。